

待機児童解消のため
市立保育所の再編については
見直す必要はないか。

子ども家庭部長 定員枠調整
を実施している地域では、調
整時期に合わせ、私立保育園
の新設等で定員減とならない
措置をとっており、今後も保
育所の再編については、予定
どおり行っていく。

赤野 秀一議員(共産) 本市
では、待機児童解消のための
施設整備を行っている一方で、
市立保育所の再編に向け、統合
する4園の合計
定員数を定員枠
調整方式により、
平成33年度まで
に212人の定
員減とすること
は、矛盾してい
ると考えるが、
保育所の再編を
見直す必要はないか。

赤野 秀一議員(共産) 本市
では、待機児童解消のための
施設整備を行っている一方で、
市立保育所の再編に向け、統合
する4園の合計
定員数を定員枠
調整方式により、
平成33年度まで
に212人の定
員減とすること
は、矛盾してい
ると考えるが、
保育所の再編を
見直す必要はないか。



主権者教育を進めるため
新聞を教材として活用する考えは
学力向上などの観点から
教員への周知・啓発を図っていききたい

西村 陸議員(公明) 主権者
教育について、国は、政治の
仕組みについての知識習得に
とどまらず、主体的に問題解
決を担う力を身に付けさせる
ことを目的として位置付けて
おり、また、地域に根付く子
どもを育てる意味でも重要で
あるとされている。

赤野 秀一議員(共産) 本市
では、待機児童解消のための
施設整備を行っている一方で、
市立保育所の再編に向け、統合
する4園の合計
定員数を定員枠
調整方式により、
平成33年度まで
に212人の定
員減とすること
は、矛盾してい
ると考えるが、
保育所の再編を
見直す必要はないか。

府中グリーンプラザの敷地は
市民の要望を実現するために
活用すべきと思うがどうか

5つの視点での活用が
要望の実現につながると考える

服部 ひとみ議員(共産) 市
は、府中グリーンプラザの敷
地活用について、定期借地権
を設定した上で賃借とし、解
体費用は事業者からの要求を
聞き入れ負担すると聞く。民
間事業者の収益のために市民
の財産を提供すべきでない
と思うが、市の見解は。

議員 長く愛されてきた市民
の貴重な財産である施設の敷
地の利活用は、市民の意向を
よく聞く必要があると考える
が、その考えはないか。

行政管理局長 府中グリーン
プラザ敷地活用方針(案)にお
いては、中心市街地の活性化
等、5つの視点のもと、活用
を進めることが、市民の要望
の実現につながるものと考え
ている。

常任委員会の審査報告から

*本定例会では、厚生委員会に付託された議案はありませんでした。

総務委員会

第33号議案
府中市個人情報保護に関する条例の一部を改正す
る条例

この議案は、行政手続における特定の個人を識別するた
めの番号の利用等に関する法律の一部改正を踏まえ、条例
事務の情報連携に関する必要な改正を行うもの
質疑に対して、「独自に特定個人情報を利用できる事務
については、区市町村などの情報連携が可能になること
により、住民票や所得証明書などの書類の添付を省略でき
るメリットがある」等の答弁があった。

委員から、「事務の効率や利用者との利益につながるため、
賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、賛成多数により、原案の
とおり可決すべきものと決定した。

文教委員会

第35号議案
国史跡武蔵国府跡(国司館地区)保存活用整備工事
(第1期その2)請負契約

この議案は、府中市本町1丁目14番地において、国史
跡武蔵国府跡(国司館地区)保存活用整備工事(第1期そ
の2)を施工するもの
質疑に対して、「整備については、1300年前の国司
館の歴史的価値を感じてもらうため、模型などを設置し、
復元していききたい。更に、地元の方や子どもたちに集ま
てもらうためにも、市民の意見を十分に伺うことで、一過
性ではなく、年間を通して利用してもらえるよう工夫して
いききたいと考えている」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のと
おり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第36号議案
府中駅前通り改良工事(第3工区)請負契約

この議案は、府中市府中町1丁目100番地ほかにおい
て、府中駅前通り改良工事を施工するもの
主な内容として、「工事項目としては、歩行者の横断防
止のための防護柵を設置する工事や車線を分離するための
帯状の施設を設置する工事、車道・歩道及び交通島の舗装
を施工する工事などがある」等の説明があった。

質疑に対して、「再開発組合の施工業者並びに市、バス・
タクシー事業者等と定期的に協議を設け、工事間の調整を
綿密に行っている」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のと
おり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中継報告から

基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、調布基地跡地
関連事業推進協議会が開催され、スポーツ施設
の正式名称を武蔵野の森総合スポーツプラザと
したとの報告があった。今後、都は、東京20
20オリンピック・パラリンピック競技大会等
に向けたアクセシビリティ対応工事を行い、平
成29年11月頃の開業を目指していくとしている。

府中基地跡地留保地の状況について、市は、
市内の意見集約や関係機関からの情報収集を目
的とした府中基地跡地留保地活用検討プロジェ
クトチームを設置し、29年6月に第1回会議を
開催した。また、附属機関である市基地跡地留
保地利用計画検討協議会の開催を予定している
などの報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口再開発事業に関する工事の進捗状
況について、平成29年4月5日から12日までの
間に消防法並びに建築基準法に基づく検査を実
施している。その結果、消防法の検査において
は、指摘事項はなく、建築基準法の検査におい
ても、適合となった。なお、今後は、7月14日
にグラントオープンを予定している。

国庫補助金の状況について、28年6月17日に
中心市街地活性化基本計画の認定を受けたこと
から、5階・6階の市民活動センター及び地下
2階の府中の森芸術劇場分館の内装工事部分
を対象に、国の補助事業として採択を受け、補助
率は補助対象事業費の5分の2となるなどの報
告があり、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

設計に関する状況については、平成29年1月
に開催した障がい者団体との意見交換を通して、
具体的な要望を受けたことや着工時期の見直し
により、設計の完了時期を29年10月から30年3
月に延長するとしている。そのため、発注者技
術支援業務の内容にも変更が生じることから、
設計に対する検証期間を延長するほか、施工業
者の選定に関する支援業務についても、着工時
期が明らかになった段階で、委託契約を改めて
行うとしている。

埋蔵文化財発掘調査については、庁舎北側の
発掘調査が終了し、江戸時代の陶磁器が発見さ
れたなどの報告があり、これを了承した。